

<第98回調査>

2017年7月31日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2017年7月18日(火)13:00~2017年7月25日(火)13:00

※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。

今回の有効回答数は642件。

※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

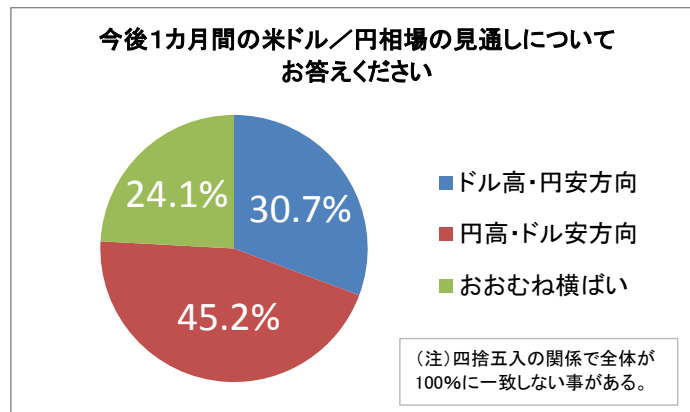
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第98回調査結果略報：年前半の収益状況は改善の模様】

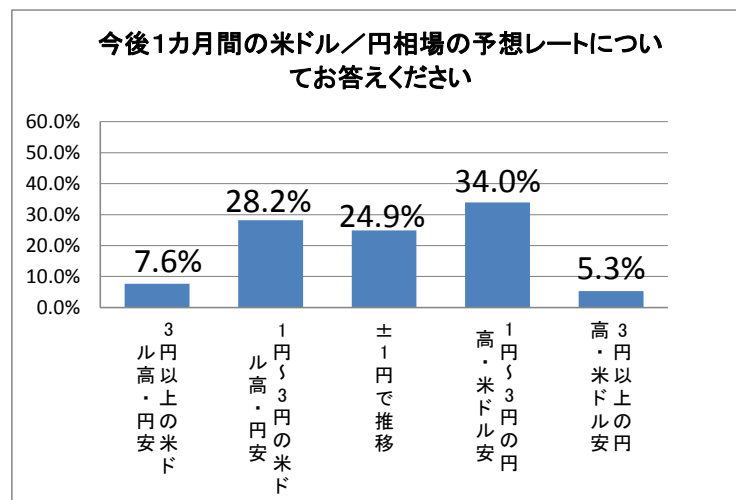
問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が30.7%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は45.2%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は▼14.5%ポイントとなり、前回に続いて先行き「弱気」を示すマイナスDIを記録した。調査期間中の米ドル/円相場は、112円台半ばから110円台半ばへと下落した。米経済指標に冴えない結果が目立ち、追加利上げに懐疑的な見方が浮上した事や、ロシアゲート疑惑の再燃によりトランプ大統領の経済政策実施に不透明感が強まった事がドルの重しとなった。こうした中、個人投資家の見通しも米ドル安・円高方向に傾いたままであった。※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の円高・米ドル安」が34.0%と最も多く、「1円～3円の米ドル高・円安(28.2%)」、「±1円で推移(24.9%)」と続き、以下「3円以上の米ドル高・円安(7.6%)」、「3円以上の円高・米ドル安(5.3%)」の順になった。ヒストグラムの形状は、凹凸が目立つ波型を描いており、円高・米ドル安予想がやや優勢とはいえ、個人投資家の見通しが割れている様子が見て取れる。

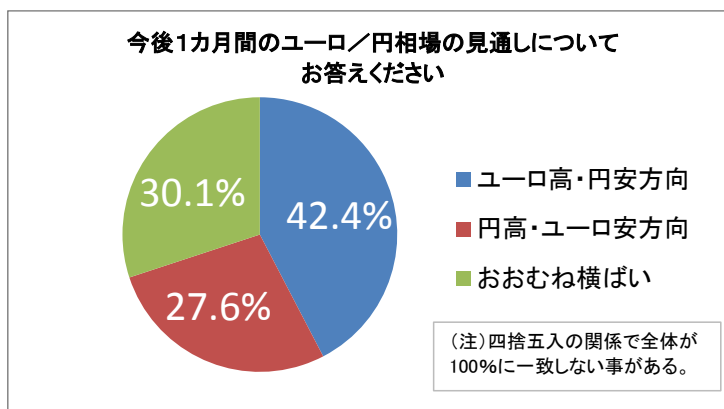


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

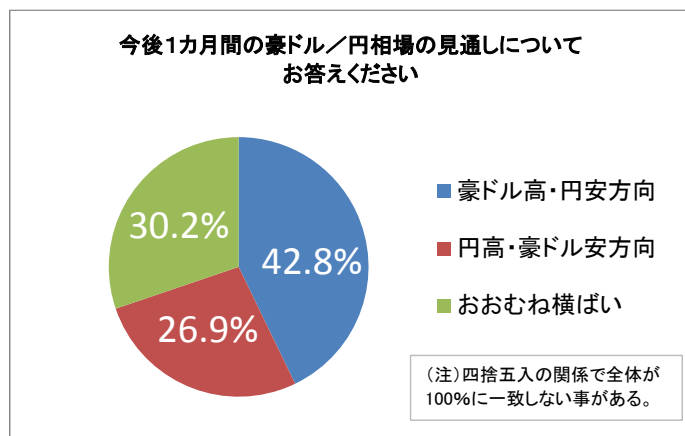
問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が42.4%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が27.6%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は△14.8%ポイントと、前回の▼5.8%ポイントからユーロ強気見通しに転じた。調査期間中のユーロ/円相場は、128円台半ばから130円台半ばのレンジで推移。130円台では上値の重さも見られたが、欧州中銀(ECB)の金融政策正常化(緩和縮小)への期待に支えられて約1年5カ月ぶりの高値圏でもみ合った。大規模緩和を維持する姿勢を改めて表明した日銀とECBのスタンスの違いが個人投資家のユーロ高・円安見通しに寄与したと見られる。
※過去のユーロ円予想DIの推移はP6-7に掲載。



問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が42.8%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は26.9%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は△15.9%ポイントとなり、前回の△8.0%から小幅に上昇して3カ月連続でプラス圏を維持した。豪ドル/円相場は、調査期間中に89.30円台まで上昇して約1年7カ月ぶりの高値を付けたが、その後87円台に押し戻されるなど失速気味の展開であった。豪中銀のデベル副総裁による「通貨高けん制」や「利上げ期待けん制」が豪ドル反落のきっかけとなったが、個人投資家には効かなかったようだ。※過去の豪ドル円予想DIの推移はP6-7に掲載。



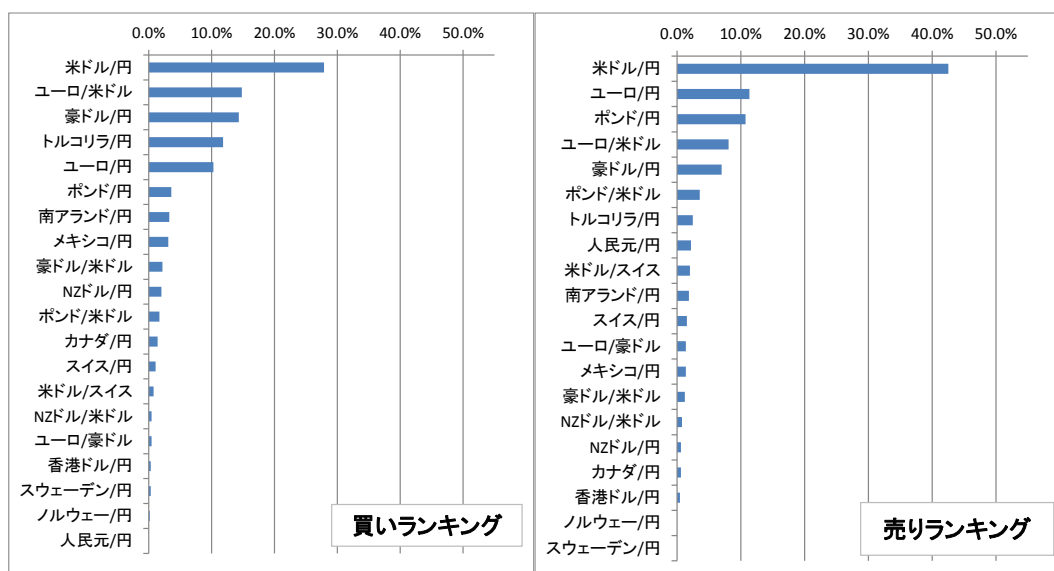
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が27.9%の回答割合を集めて1位であった。以下、ユーロ/米ドル(14.8%)、豪ドル/円(14.3%)、トルコリラ/円(11.8%)、ユーロ/円(10.3%)の順に続いた。米ドル/円が連続首位記録を58カ月に伸ばしたほか、ユーロ/ドルも4カ月連続で2位をキープした。ただ、米ドル/円の回答割合は前回(32.4%)から低下しており、2位以下との差が縮まった格好だ。

一方、「売り」で注目の通貨ペアは米ドル/円が42.5%の回答割合を集めて9カ月連続で首位の座をキープした。以下、ユーロ/円(11.4%)、ポンド/円(10.7%)、ユーロ/米ドル(8.1%)、豪ドル/円(7.0%)の順に続いた。こちらは、米ドル/円の回答割合が前回(32.4%)から上昇しており、2位以下との差が広がったのが印象的だ。個人投資家の米ドル/円相場に対する見方については、強弱感が交錯しつつも、強気度合いが低下すると同時に弱気度合いが上昇していると言えるだろう。

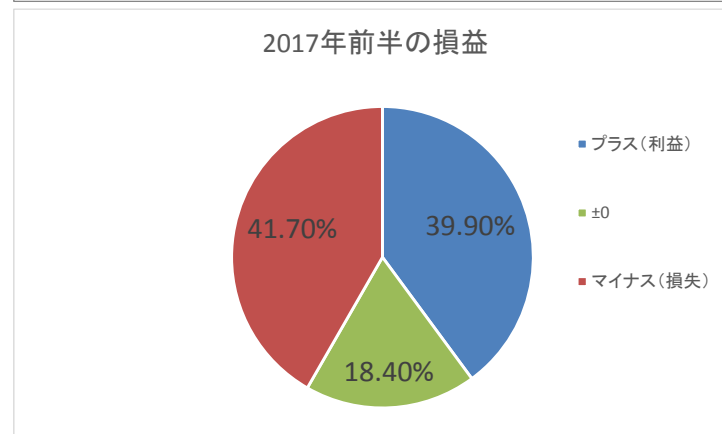
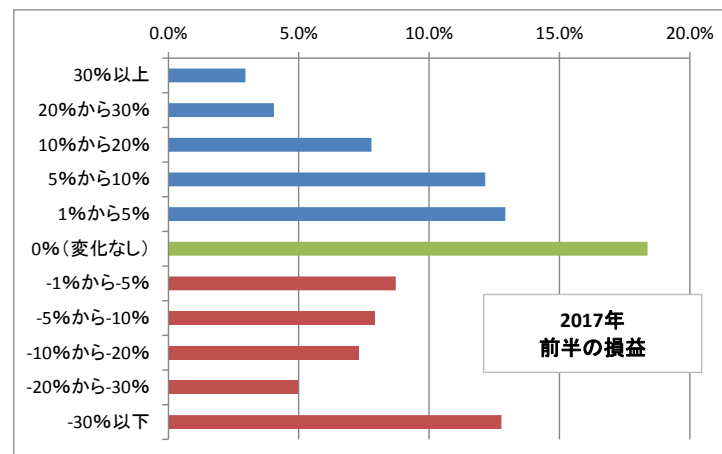


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6: 2017年1月から6月末までの損益状況について、投資資金の何%となっていますか。(ひとつだけ)

今回の特別質問として、「2017年1月から6月末までの損益状況について、投資資金の何%となっていますか。(ひとつだけ)(例: 100万円の投資資金が110万円になった場合10%)」と尋ねたところ、最も多かったのは「0%(変化なし)」の18.4%で、以下「+1%から5%(12.9%)」、「-30%以下(12.8%)」、「+5%から10%(12.1%)」と続いた。なお、プラス(利益)かマイナス(損失)かで合算集計すると、プラスが39.9%、マイナスが41.7%となり、わずかながら損失が出た割合のほうが高かった。それでも、個人投資家の投資成績は昨年の同時期に比べると改善したと言えるだろう。なお、昨年7月調査(2016年前半の損益)では、プラスが29.4%、マイナスは57.0%であった。また、「損益について最大の要因は何だと思われるか、コメント欄にお書き下さい」としたところ、プラス(利益)サイドからは「上手くトレンドに乗れた」「勝つ事よりも負けない取引を心がけた」などの回答が寄せられた。なお、「+30%以上」と答えた向きからは「トルコリラの持ち直し」や「メキシコペソの反発」など、新興国通貨のクロス円取引が収益を押し上げたとの回答が目立った。「+1%から5%」や「+5%から10%」とした向きからは「スワップ金利のおかげ(で救われた)」との回答もあった。一方、マイナス(損失)サイドからは「トレンドに逆らった取引」や「損切りの遅れ」が挙げられており、具体的には「ユーロの急上昇が痛かった…」との声が上がっていた。

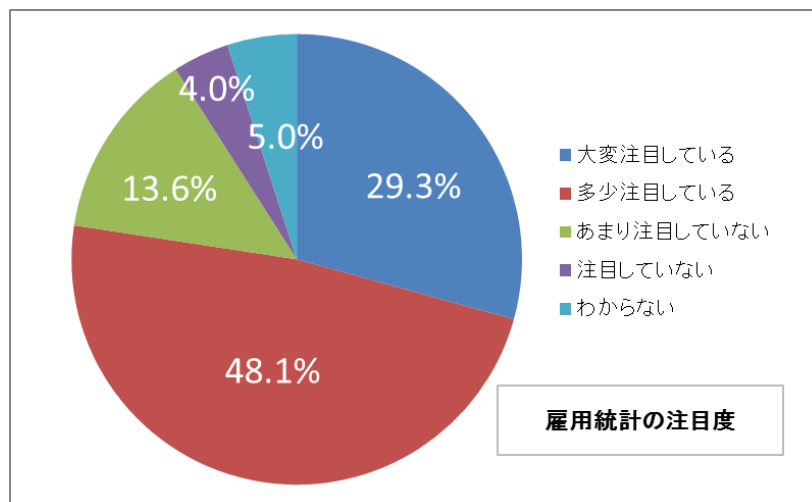


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問7: FXTレードをする上で、米国雇用統計の結果にどれくらい注目していますか？

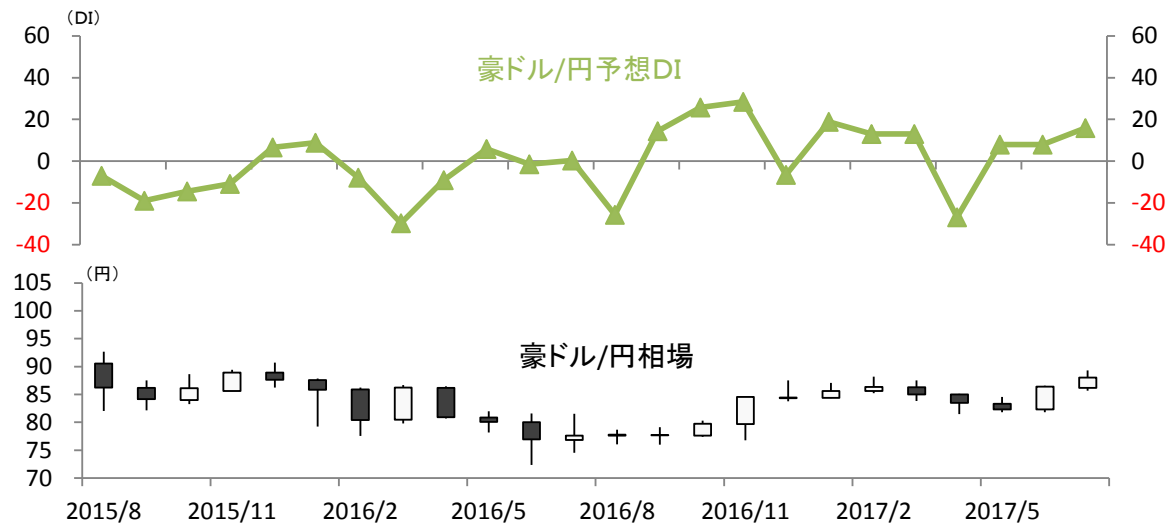
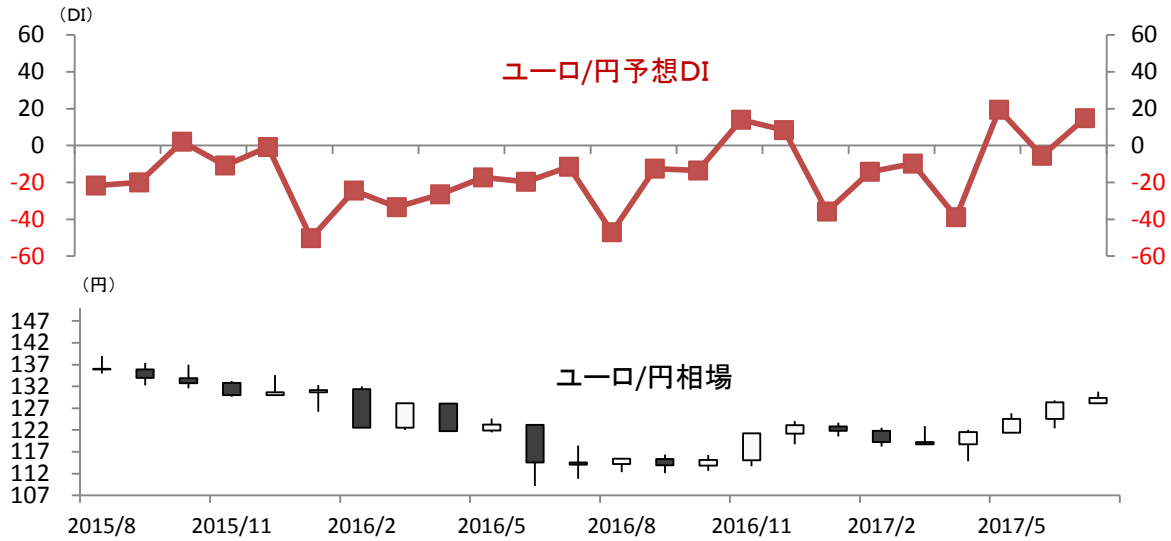
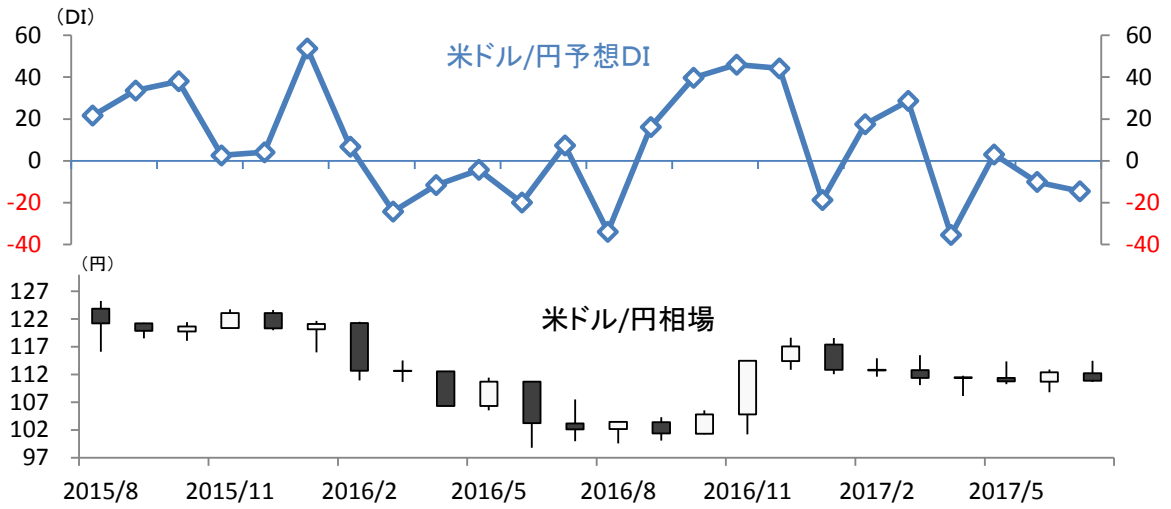
今回の特別質問として、「FXTレードをする上で、米国雇用統計の結果にどれくらい注目していますか？」と尋ねたところ、「多少注目している」が48.1%と最も多く、2番目の「大変注目している(29.3%)」との合算で個人投資家の8割近くが米雇用統計を重視しており、改めて高い注目度を誇っている事がわかった。一方、少数ではあったが、「あまり注目していない(13.6%)」および、「注目していない(4.0%)」との回答も一定数に上った。これに、「『多少』注目している」割合が「『大変』注目している」割合を上回った点を重ね合わせると少々違った印象になる。個人投資家の総意としては、米雇用統計の結果は注目に値するが、為替レートのトレンドに著しく強い影響を及ぼすほどではないと評価しているのかもしれない。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第98回目となりました。調査開始から8年が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル／円			ユーロ／円			豪ドル／円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2015年	8月	51.1	13.1	38.0	30.9	28.8	2.1	24.1	38.5	-14.4
	9月	37.1	34.5	2.6	24.9	35.8	-10.9	29.9	40.7	-10.8
	10月	30.3	26.2	4.1	30.3	31.1	-0.8	39.6	33.0	6.6
	11月	67.3	13.6	53.7	11.1	61.4	-50.3	34.4	25.6	8.8
	12月	43.8	37.1	6.7	19.7	44.1	-24.4	30.5	38.4	-7.9
	1月	27.3	51.5	-24.2	19.2	52.6	-33.4	22.8	52.5	-29.7
2016年	2月	34.7	46.3	-11.6	22.5	49.0	-26.5	32.3	41.3	-9.0
	3月	33.3	37.6	-4.3	24.8	42.1	-17.3	37.6	31.8	5.8
	4月	30.2	50.2	-20.0	24.2	43.9	-19.7	34.2	35.7	-1.5
	5月	40.8	33.4	7.4	22.6	38.2	-11.6	35.7	35.3	0.4
	6月	26.3	60.2	-33.9	20.0	67.0	-47.0	24.8	50.5	-25.7
	7月	48.3	32.1	16.2	32.1	44.7	-12.6	44.2	29.8	14.4
	8月	26.5	48.9	-22.4	17.2	48.1	-30.9	25.9	40.2	-14.3
	9月	34.5	36.8	-2.3	23.8	38.0	-14.2	28.4	35.4	-7.0
	10月	57.3	17.6	39.7	24.2	37.7	-13.5	43.3	23.0	20.3
	11月	65.9	19.9	46.0	38.7	24.8	13.9	47.0	21.2	25.8
	12月	64.4	20.2	44.2	36.6	28.3	8.3	50.0	21.6	28.4
	2017年	1月	35.2	54.0	-18.8	18.3	54.1	-35.8	28.9	35.5
2月		46.2	28.7	17.5	23.8	38.1	-14.3	41.9	23.1	18.8
3月		53.3	24.7	28.6	27.6	37.4	-9.8	36.1	23.1	13.0
4月		21.6	51.7	-35.5	17.7	56.6	-38.9	19.6	46.4	-26.8
5月		38.4	35.3	3.1	45.9	26.5	19.4	34.9	27.0	7.9
6月		33.3	43.4	-10.1	31.5	37.1	-5.6	33.7	25.7	8.0
7月		30.7	45.2	-14.5	42.4	27.6	14.8	42.8	26.9	15.9

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com